

令和 6 年度当初予算(案)

躍動する兵庫 「個」が輝く希望と安心の未来へ

令和6年度当初予算 全体像

	令和6年度	令和5年度	増 減	伸 率
一 般 会 計	23,390億円	23,597億円	△207億円	△0.9%
特 別 会 計	16,355億円	16,063億円	+ 292億円	+1.8%
公営企業会計	3,273億円	3,122億円	+ 151億円	+ 4.8%
合 計	43,018億円	42,782億円	+ 236億円	+ 0.6%

一般会計の主な増減理由

- 定年引き上げの影響による退職手当の増や社会保障関係費の増等がある一方、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業の皆減や中小企業制度資金貸付金の減等により、前年度を207億円下回る

令和6年度当初予算 歳入の概要

①県税等 **9,163**億円（対前年度比：+ 1.4%）

- ・ 定額減税の実施に伴う個人関係税の減や輸入額の減少に伴う地方消費税の減が生じた一方、堅調な企業業績に伴う法人関係税・特別法人事業譲与税の増による増

②地方交付税等 **3,604**億円（対前年度比：△ 2.4%）

- ・ 社会保障関係費の増等により基準財政需要額が増となる一方、法人関係税の増等による基準財政収入額の増により、交付基準額が減少したことによる減

③国庫支出金 **1,699**億円（対前年度比：△29.6%）

- ・ 5類移行に伴う新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の皆減等による減

④県 債 **1,118**億円（対前年度比：+ 5.7%）

- ・ 投資事業費に連動し、事業進捗等による増

⑤その他 **7,806**億円（対前年度比：+ 5.5%）

- ・ 中小企業制度資金貸付金償還金が減少する一方、定額減税減収補填特例交付金の皆増等による増

令和6年度当初予算 歳出の概要

①人件費 **4,612**億円（対前年度比：+6.5%）

- ・令和5年度給与改定による増及び、定年引上げによる退職手当の増 等

②行政経費 **11,864**億円（対前年度比：△3.7%）

- ・社会保障関係費の自然増、若者・Z世代応援パッケージの実施等による増
- ・5類移行に伴う新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金事業の皆減
- ・新型コロナ対策資金の償還進捗等による中小企業制度資金貸付金の減 等

③投資的経費 **1,859**億円（対前年度比：+1.5%）

- ・投資補助事業（特別支援学校の整備等）の進捗による増 等

④公債費 **2,705**億円（対前年度比：+1.5%）

- ・過年債の据置期間終了に伴う償還開始による増 等

⑤その他 **2,351**億円（対前年度比：△4.0%）

- ・地方消費税等の税込減に伴う税交付金の減 等

(参 考) 財政フレーム

■財政見通し

R7～R10総額
△215億円

区 分	R5見込	R6当初	R7	R8	R9	R10	参 考		R10までの目標
							R11	R12	
収支不足額	0億円	0億円	△55億円	△75億円	△50億円	△35億円	△5億円	△25億円	収支均衡を目指す
実質公債費比率	17.7%	19.1%	20.8%	21.6%	22.3%	22.8%	23.5%	22.6%	21%程度
3 か年平均	16.4%	17.6%	19.2%	20.5%	21.5%	22.2%	22.9%	23.0%	
将来負担比率	323.2%	322.3%	314.7%	311.5%	304.2%	297.9%	290.7%	283.5%	305%程度
経常収支比率	97.2%	99.4%	96.8%	98.8%	96.5%	97.5%	96.3%	97.3%	100%未満を維持

- 令和10年度までの収支不足総額は**215億円**となり、前年度の 255億円から**40億円改善**
- これは、長期金利の上昇が見込まれる一方、税収の改善や経済成長率の上昇が見込まれることなどによるもの
- 依然として収支不足額が生じていることから、**更なる税収確保や自主財源の獲得、より効果的、効率的な事業展開など歳入歳出両面における改善を図るとともに、地方財政制度の活用により、毎年度の収支均衡を目指す**
- このほか、ひょうご農林機構の分収造林事業や企業庁の地域整備事業会計における多額の債務への対応など**財政運営上の大きな課題**も残っている。また、病院事業については、物価高騰、受療行動の変化等により全国的にも経営環境が悪化しており、本県でも赤字基調となっていることから、経営改善の検討も必要
- これらの課題に対して、令和6年度以降、**県議会や県民との情報共有を徹底しつつ、抜本的な見直しに向けた検討を進める**

※分収造林事業及び地域整備事業会計の債務処理（分収造林事業：令和4年度末借入金残高 約730億円、地域整備事業会計：令和4年度末企業債残高 約770億円）については、今後、処理年度や債務処理に活用可能な財源など具体的な対応方策を検討のうえ、その結果を財政フレームに適切に反映していく

令和6年度予算編成の重点

「個」の可能性を拡げることより、地域の持続可能性を高める

兵庫の新たなステージへ

I 若者・Z世代が輝く 兵庫

- **学びやすい兵庫**
 - ・ 高等教育の負担軽減
 - ・ H Y O G O グローバルリーダー育成プロジェクトの推進
 - ・ 県立学校の教育環境の整備
- **子どもを産み育てやすい兵庫**
 - ・ 不妊治療支援の強化
 - ・ 不登校・ひきこもり対策の強化
 - ・ ケアーバー・ヤングケアラー支援の拡充
- **住みやすい兵庫**
 - ・ 安心して子育てができる住宅・住環境の確保
- **働きやすい兵庫**
 - ・ 奨学金返済支援制度の拡充
 - ・ ミモザ企業認定制度の推進

等

II 活躍の場が広がる 兵庫

- **2025大阪・関西万博に向けた取組の加速**
 - ・ フィールドパビリオンのプロモーション
 - ・ フェニックス事業用地の賑わいづくり
 - ・ ユニバーサルツーリズムの取組拡大
- **スポーツ・芸術文化の振興**
 - ・ H Y O G O スポーツの新展開
 - ・ Z世代の芸術文化活動支援
- **産業競争力の強化**
 - ・ 次世代成長産業の社会実装の支援（水素・空飛ぶクルマ）
 - ・ S D G s の取組の発信強化
 - ・ 有機農業の担い手育成（有機農業アカデミー（仮称）の設置 等）
- **高規格道路ネットワークの整備**

等

III 安全安心に包まれる 兵庫

- **高齢者の安全安心対策**
 - ・ 特殊詐欺被害対策の推進
- **1人1人が尊重される社会づくり**
 - ・ パートナリシップ制度の推進
 - ・ S N S 誹謗中傷等対策の推進
- **医療の充実**
 - ・ 医師の働き方改革の推進
 - ・ 新興感染症対策の強化
- **防災・減災対策の推進**
 - ・ 阪神・淡路大震災30年事業の推進
 - ・ 県土強靱化対策の推進
 - ・ 能登半島地震を踏まえた災害対応の充実強化

等

IV 県政改革の推進

○新しい働き方改革の推進 等

若者・Z世代応援パッケージの全体像

I 若者・Z世代が輝く兵庫

若者・Z世代を直接支援

次代を担う若い世代が
抱える不安の払拭一人一人の
「個の力」を伸ばす若者世代が
兵庫に定着ポテンシャルを発揮し、
地域コミュニティを活性化
兵庫の成長・発展へ

学びやすい兵庫 [80.8億円]

- 高等教育の負担軽減
 - ・県立大学の授業料等無償化
 - ・奨学金返済支援制度の拡充
- 次代を担う人材の育成
 - ・海外留学のサポート強化 等
- 教育環境の充実
 - ・教育投資の充実 等

子どもを産み育てやすい兵庫 [5.1億円]

- 不妊治療支援の強化
 - ・経済的負担の軽減、不妊治療と仕事の両立 等
- 子育て支援の充実
 - ・放課後児童クラブの充実
- 課題を抱えるこども・若者への支援
 - ・不登校・ひきこもり対策の強化 等

住みやすい兵庫 [3.9億円]

- 安心して子育てができる住宅・住環境の確保
 - ・県営住宅の供給・入居促進
 - ・民間住宅への入居促進

働きやすい兵庫 [1.2億円]

- 産業を支える人材の確保
 - ・理工系人材の確保、外国人の就職促進 等
- 多様な働き方の推進
 - ・フレッシュミモザ企業の導入 等

1. 「学びやすい兵庫」の実現

I 若者・Z世代が輝く兵庫

■高等教育等の負担軽減

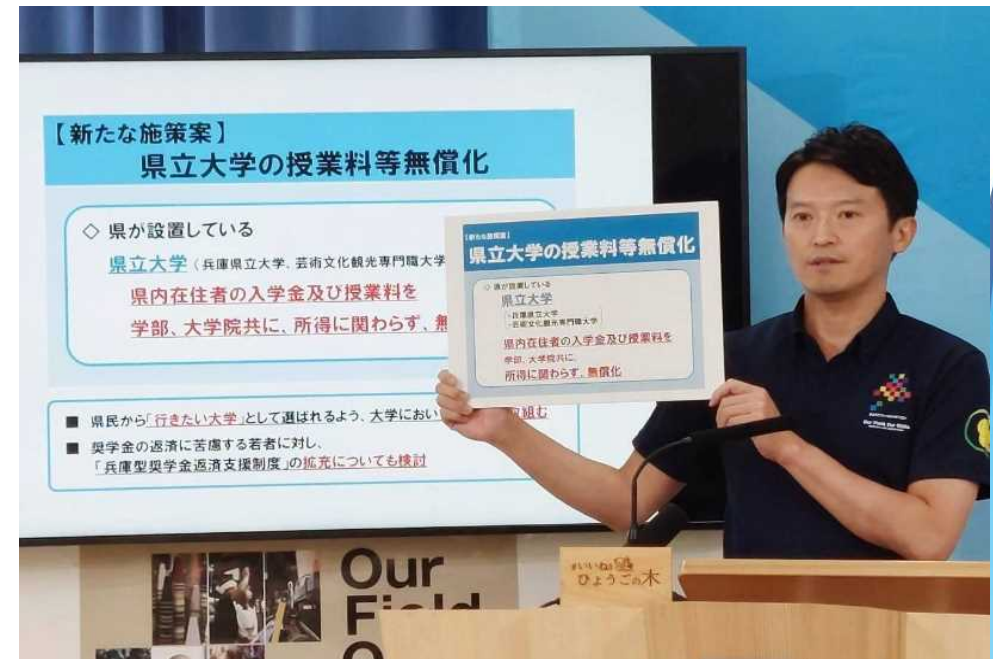
- 兵庫の若者が、学費負担への不安なく、希望する教育を受けることができるよう高等教育への支援を先駆的に実施
- 本県独自の奨学金返済支援制度・授業料軽減を拡充

県立大学の授業料等無償化 [5.2億円]

[新]・兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学について、
県内在住者の入学金及び授業料を学部、大学院共に、所得に関わらず無償化

- ✓ **県内在住者の入学金及び授業料の無償化**
 - ・ 在学生と新入生との支援格差を考慮し、在学生（高学年）より段階的に実施
 - ・ 大学院の博士後期課程までの一貫した無償化
- ✓ **県外生等について県による独自支援を継続**
学部・大学院共に年収500万円未満世帯を支援
- ✓ **県外生の入学金を国立大学並に引き下げ(R7以降)**
現行423,000円→282,000円

全国初



奨学金返済支援制度の拡充 [1.7億円]

- [拡]・対象年齢の緩和（30歳未満→**40歳未満**）
- [拡]・経営や雇用改善、社会貢献等が認められる企業等における補助期間を延長（5年→**最大17年**）

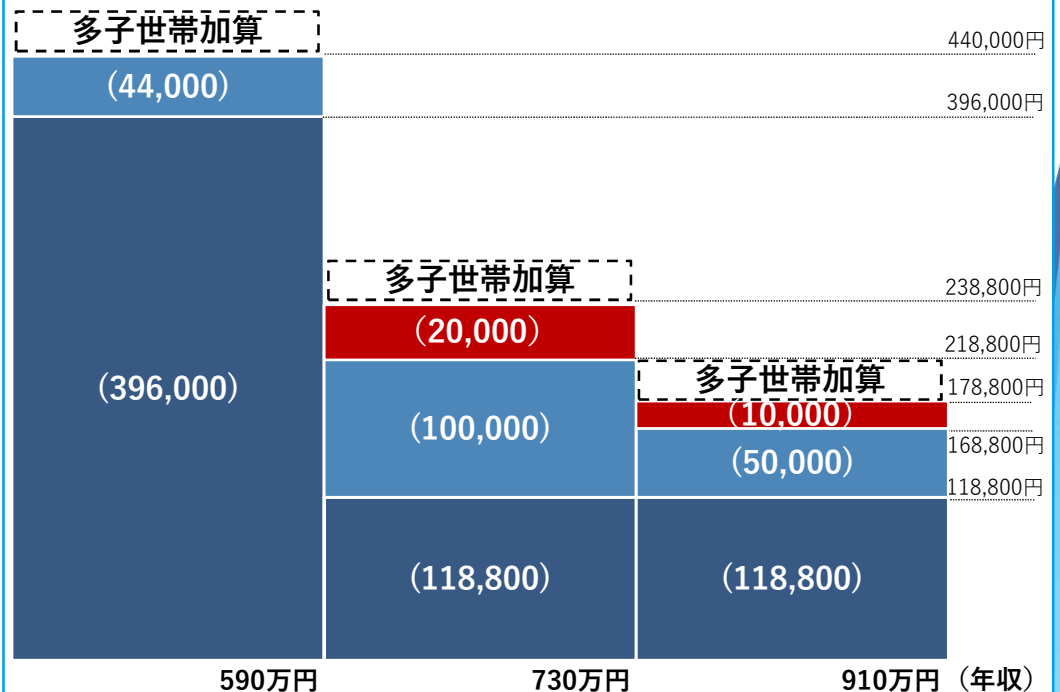
全国
トップ
クラス

補助期間	補助総額	対象企業
5年	90万円 〔県 60万円 企業 30万円〕	県内に本社がある中小企業
10年 [新]	180万円 〔県 120万円 企業 60万円〕	以下のうち2つの制度に該当 ・SDGs宣言企業 ・フレッシュミモザ企業 ・ワーク・ライフ・バランス宣言企業
17年 [新]	306万円 〔県 204万円 企業 102万円〕	以下のうち2つの制度に該当 ・SDGs認証企業 ・ミモザ企業 ・ワーク・ライフ・バランス表彰企業 ・ワーク・ライフ・バランス認定企業

私立高等学校等の授業料軽減 [9.9億円]

- [拡]・中間層に対する私立高等学校等の**授業料軽減補助を拡充**

年収730万円未満世帯を **2万円**引き上げ
（10万円 → **12万円**）
年収910万円未満世帯を **1万円**引き上げ
（5万円 → **6万円**）



■次代を担う人材の育成

- 兵庫への誇りを礎に、探究心とチャレンジ精神をもって日本の未来を切り拓くグローバルリーダーとして活躍する人材を育成

HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト

○英語力の向上のための研究と実践（アプリを活用した授業実践研究）[1,296万円]

- [新]**・国の教育振興基本計画に掲げるCEFR A2※の目標達成(R9:60%)に向け、**英語教育重点指定校(仮)を指定し、英語学習アプリを活用する授業を研究(20校)**

※CEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment) 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)は、外国語によるコミュニケーション能力の評価等に用いられる国際基準の指標

CFER		英検
熟達した言語使用者	C 2	—
	C 1	1 級
自立した言語使用者	B 2	準 1 級
	B 1	2 級
基礎段階の言語使用者	A 2	準 2 級
	A 1	3 級・4 級・5 級

○高等学校探究活動の充実（SSH並の県指定研究事業の推進）[5,100万円]

- [新]**・国指定事業による研究に加え、「**ひょうごリーダーハイスクール(仮)**」を創設文理融合型や国際系等の探究等、県立大学等と連携した研究等を実施(**10校**)



○海外留学のサポートの強化 [4,460万円]

- [新]**・これまでの留学補助（はじめて留学：上限20万円、短期：6万円、長期：40万円）に加え、留学先で個々の学びを深める「**チャレンジする高校生**」を官民連携で応援する枠組みを構築

チャレンジ留学の概要

留学日数	約1ヶ月
補助上限	50万円
所得制限	なし
補助人数	10名（令和6年度）
補助要件	留学先で兵庫県の魅力を発信する活動を必ず実施

➤ **HYOGO高校生「海外武者修行」応援プロジェクト**

（「**国際人材育成基金**」を造成）

支援目標
100名/年

■教育環境の充実

➤ 質の高い教育環境を整備することで学校への愛着を形成し、シビックプライドを醸成

教育投資の充実

○ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業 [5.7億円]

- ・ 県立学校の**部活動等を応援**するため、生徒自らが使い道を決定した生徒ファースト予算により用具などを購入
(全日制高校平均：約200万円/年)

[新]・学校グラウンドの**芝生化のモデル整備**を実施

(R6実施校：社高校、星陵高校)

○県立学校の環境充実 [31.3億円]

- ・ 選択教室の空調整備 (R6：97教室)
- ・ 避難所指定体育館の空調整備 (R6：17校)
- ・ 発展的統合校の特色づくり(講義棟等の整備) (R6：5校)
- ・ 緊急修繕・環境改善事業の強化

○新たな特別支援学校の整備 [25億円]

- ・ 豊岡聴覚特別支援学校・出石特別支援学校の発展的統合
(但馬地域新設特別支援学校(仮称)の整備)
- ・ 東播磨地域の知的障害特別支援学校狭隘化対策
(いなみ野特支の改築、東播磨新設特別支援学校(仮称)の整備、東はりま特支の校舎増築 等)



特別支援学校における通学環境の改善 [1.2億円]

[新]・長時間乗車に伴う児童生徒の負担を軽減するため、**スクールバスの運行基準等を見直し、バスを増車** (5台)
(最長乗車時間:現行90分→75分に引き下げ)

[新]・バス停まで送迎する保護者の負担を軽減するため、**バスの位置情報確認サービスを導入**

2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

I 若者・Z世代が輝く兵庫

■不妊治療支援の強化

➤ 子どもを産み育てたいと願う方たちが、安心して不妊治療が受けられる体制を整備

経済的負担の軽減

[新]・保険適用外の先進医療費助成 [1.8億円]

対象	県内医療機関で先進医療を受けた者 (43歳未満)
助成額	胚移植1回あたり3万円 (回数制限なし) 全国初

[新]・先進医療にかかる通院交通費助成 [700万円]

対象	本人（同行者は対象外）
助成額	胚移植1回の治療にかかった通院交通費の合計額から5,000円を控除した額の1/2以内の額
対象手段	①鉄道運賃 ②特急料金 ③バス ④自家用車 ⑤高速道路料金

※いずれも **オンライン申請に対応** [870万円]
(e-ひょうご)

不妊治療と仕事の両立

[新]・管理職を含めた企業向けセミナー開催

[新]・健康づくりチャレンジ企業向け支援

プレコンセプションケア推進

[新]・高校生、大学生を対象に妊娠・出産を含む健康についての出前講座などを実施 [200万円]

普及啓発

- ・SNSやチラシ、ポスターによる情報発信
- ・不妊治療応援サイトの活用(R6.2.1～) [800万円]

不妊治療支援特化条例の創設

[新]・企業の取組促進や教育現場の理解促進を図るための条例制定を検討 **全国初**

■子育て支援の充実

[新]・保護者のニーズに応えるため、**新たに夏休みに特化した放課後児童クラブを開所する場合の運営費を、県独自に支援** [975万円]

[新]・放課後児童クラブの待機児童数を減少させるため、**保育所空き教室を活用した放課後児童クラブの開設を支援** (人件費・ハード整備を支援) [800万円]

■課題を抱えるこども・若者への支援

➤ 課題を抱えるこども・若者も安心して暮らせる環境づくりを推進

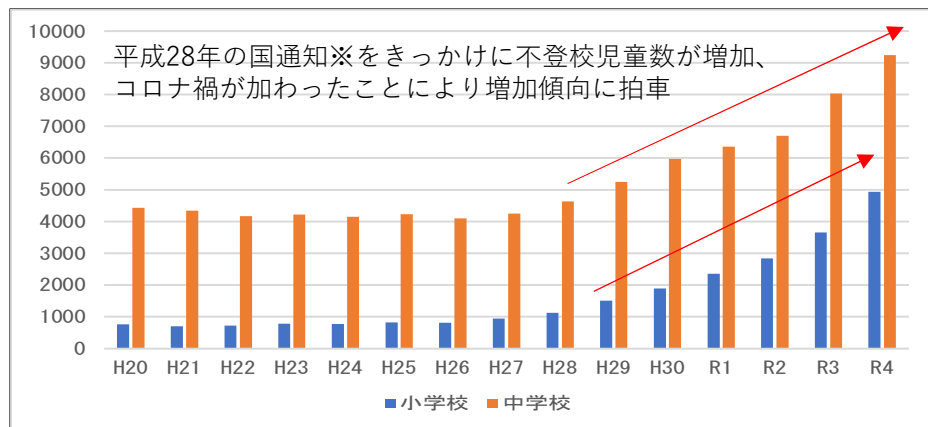
不登校・ひきこもり対策の強化

○校内サポートルームにおける支援体制の充実

[新]・「不登校児童生徒支援員」の配置 [2.1億円]
 中学校：各校に1人
 小学校：市町ごとに4校に1人

※市町の状況に応じ、柔軟に対応

【不登校児童生徒数の推移（県内小中学校）】



※不登校児童生徒への支援の在り方について（文科省通知）

○学校と連携した地域の相談機能の強化 [2,083万円]

[新]・青少年悩み対策カウンセラー(仮称)の配置 (5人)
 (兵庫ひきこもり相談支援センター地域ランチ5箇所各1名)

○当事者本人及び家族の居場所づくり [179万円]

[新]・女性専用及び対面開催にも対応するオンライン居場所を設置

ケアリーバー支援

入所中 ～学びや好奇心を満たす環境づくり～

○学習・習い事支援 [2,065万円]

[新]・学習環境の保障と体験機会を増やすため、
 小学生の学習塾代と習い事代を支援

○再チャレンジ進学支援 [900万円]

[新]・既卒者の大学進学に向けた再挑戦を応援するため、既卒者の予備校代の一部を支援

退所後 ～支援のネットワークづくり～

○ケアリーバー専門相談窓口の開設 [1,945万円]

[新]・県福祉センター内に支援員3名を配置

○ケアリーバー応援企業の拡大 [226万円]

[新]・ケアリーバー応援企業認定・表彰制度の創設

[新]・応援企業にワーク・エスコーター（寄り添い支援者）を配置し、伴走型支援を実施

全国初

ヤングケアラー支援

○市町の窓口設置の後押し [134万円]

[新]・支援マニュアルの作成、キャラバン研修を実施

○当事者の交流や支援の更なる推進 [101万円]

[新]・県内各地の支援団体と協力し、当事者の全県でのオンライン交流会、支援団体の情報交換会を開催

3. 「住みやすい兵庫」の実現

Ⅰ 若者・Z世代が輝く兵庫

■安心して子育てができる住宅・住環境の確保

- 通勤・買物等の生活利便性が高く、良質な住宅と暮らしやすい住環境を確保することで、子育て世帯の転入・定住を図り、地域コミュニティを活性化

県営住宅の供給・入居促進

○入居しやすい県営住宅

[新]・奨学金返済者優先枠の新設

対象：単身(40歳未満)、夫婦(合計80歳未満等)

全国
初

[新]・入居促進策の拡充

家賃3か月分の敷金を免除

都道府県
初

[拡]・入居要件の緩和

子育て世帯・多子世帯(18歳未満)、若年単身世帯(40歳未満)

[拡]・優先入居枠の拡充(600戸/年→720戸/年)

○子育てしやすい県営住宅 [2.8億円]

[新]・子育て世帯向けリノベーション

[グレードアップ改修](120戸)

LDK化、システムバス、洗面化粧台の設置等

[サブリース方式](50戸)

空き住戸を民間事業者が改修・低廉に提供

都道府県
初

[新]・共用部の重点的改修・整備(60団地)

団地内の集会所を活用したキッズルーム等の整備

[新]・子育て世帯向けの住宅供給(県営青木団地)

PFIで子育て世帯向け住宅整備(R10完成予定)

民間住宅への入居促進

○子育てしやすいモデル地域(住宅地)づくり [6,440万円]

[新]・阪神間における「子育て住宅促進区域」での重点的支援(R6:尼崎市をモデル指定検討)

[民間住宅への入居支援](新築50件、中古20件、改修:8件)

子育て世帯が暮らしやすい良質な住宅の取得補助

(新築住宅:最大200万円、中古住宅:最大60万円)

戸建住宅を貸し出す家主等への改修補助(最大60万円)

[子育て支援施設の開設支援](4件)

空きテナントへの子育て支援施設開設費の補助

(改修費・家賃・備品購入費:300万円/初年度)

○県外からの一層の転入促進 [5,000万円]

[新]・阪神間への住み替え支援(400戸)

県外から民間賃貸住宅への住み替え補助(最大25万円)



※出典(イメージ図):「子育てに配慮した住宅と居住環境に関するガイドライン(案)」
(国土技術政策総合研究所)(https://www.nilim.go.jp/lab/iag/guideline_HousingPlanning_childcare.htm)

4. 「働きやすい兵庫」の実現

I 若者・Z世代が輝く兵庫

■産業を支える人材の確保

- 生産年齢人口が減少する中、コロナ後の人流回復で、製造や観光の現場等で人手不足が深刻化している社会経済情勢を踏まえ、現場の課題に即した対策を実施

多様な人材確保に向けた取組

○高校生の県内就職促進 [779万円]

- [新]・地元企業と学校が連携し、高校生のキャリア形成を支援するセミナーを開催

○理工系人材の確保促進 [1,661万円]

- [拡]・理工系学生と県内中小製造業とのマッチング機会を創出する**製造・研究現場見学会を開催**

○外国人の就職・定着促進 [1,320万円]

- [新]・**外国人雇用に関する企業認証制度を検討**
[新]・**外国人採用ジョブフェア・プレイベントの開催**

○多様な人材の活躍促進 [1,591万円]

- [新]・デジタル技術を活用して多様な労働力を発掘、就職へとつなぐ、**ギグワークのマッチングシステムを構築**

○観光産業の人材確保対策 [2,194万円]

- [新]・観光産業のうち、特に人手不足が深刻な、旅館・宿泊事業者の**調理師の確保に向け、インターンシップを開催**

- ・人材確保を支援するため、**就職説明会への参加、職員研修に要する経費等の一部を支援**

○地域公共交通事業者の人材確保対策 [2,900万円]

- [新]・公共交通ネットワークを維持するため、路線バス・タクシー事業者の**第2種免許取得費用等の一部を支援**

○奨学金返済支援制度の拡充（再掲）

■多様な働き方の推進

- [新]・市町や民間企業・団体等と連携し、ひょうごフィールドパビリオンのSDGs体験型地域プログラム等の要素を取り入れ、プログラムを造成する、**ひょうごSDGsワーケーション・スタート推進事業**を実施 [300万円]
- [拡]・ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度に、**より取り組みやすい「フレッシュミモザ企業」を導入** [792万円]

1.2025大阪・関西万博に向けた取組の加速

II 活躍の場が広がる兵庫

■万博に向けた仕上げの1年の取組

➤ 「県民が参加する万博」を実現するため、令和6年度は**仕上げの1年として取組を加速化**

ひょうごフィールドパビリオンの展開



フィールドパビリオン認定

185件
R5.12.19時点

プレミア・プログラム選定

うち9件
R5.11.30時点

○近隣アジア諸国、国内・県内にターゲットをシフトしたプロモーションを展開 [1.4億円]

- ・航空会社等就航先でのプロモーション
- ・ツーリズムEXPOジャパンなど国内旅行博への出展

[新]・万博会場でのフィールドパビリオンPRイベントの検討

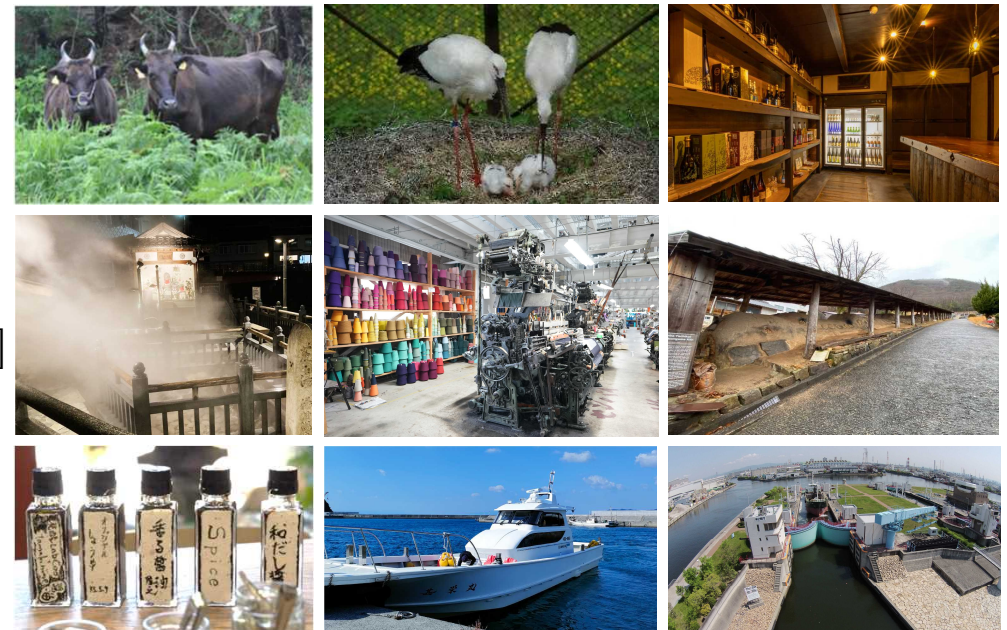
○国内外からの誘客に向けた磨き上げを実施 [3,080万円]

[新]・ツアー造成に向けた**商談会・エクスカーション等の実施**

- ・PDCAサイクルに基づく磨き上げ研修の実施
(座学・実地・メタバース講習会等)

[新]・「**フィールドパビリオン県民モニター事業**」の実施

対象団体：県内の地域団体グループ等（10名以上）
補助額：定額（上限4万円）



万博会場「兵庫県ゾーン」・県立美術館 における魅力発信

- 展示制作、運営計画策定やフィールドパビリオンを含めた周遊促進策の検討 [6.9億円]

- ・兵庫県ゾーン・県立美術館会場の展示制作

[新]・万博会場中の**運営計画の策定**

[新]・両会場及びフィールドパビリオンへの誘客・周遊促進策の検討

<出展イメージ>



兵庫県ゾーン



兵庫県立美術館

兵庫県版テーマウィーク・「市町の日」 による魅力発信

- 県独自テーマを設定した「兵庫県版テーマウィーク」、市町・地域単位の情報発信を行う「市町の日」を展開

[新]・テーマ関係イベント等の検討 [377万円]
・市町・団体の参加に向けた準備・調整

兵庫県独自テーマの企画例

- 災害からの創造的復興
創造的復興サミットの開催等
- ひょうごの成長産業と地場産業
万博に向けた国際フロンティア産業
メッセの開催等



機運醸成事業の実施

- 万博開幕前の節目に万博関連イベントを集中開催する等、万博を身近に感じる機会を創出 [1,263万円]

- ・300日前 (6/17(月))、半年前 (10/13(日))、1ヶ月前 (3/13(木)) の**カウントダウンイベントの開催**

- 万博会場外駐車場隣接地(フェニックス事業用地)を活用した機運醸成 [2.6億円]

- ・空飛ぶクルマ2地点間運航に向けた調整

[新]・「ひょうご万博楽市・楽座」開催に向けたインフラ整備



子どもの夢プロジェクト

- 万博という特別な機会に兵庫の子ども達が万博に参加できる企画を展開 [1,611万円]

[新]・未来社会を考えるきっかけとなる**オンライン・リアル授業を開催**(万博期間中にスピーチコンテスト等を実施)

対象(想定)

オンライン授業：子ども食堂・児童館等に通う小学生

リアル授業：上記に参加できなかった小学生

[新]・子ども達自らが、**フィールドワーク・仕事体験を通じ、地域の思いを調査**(万博会場で発表)
(対象(想定)：小・中学生)

2.万博を見据えた観光施策の推進

■ユニバーサルツーリズムの推進

- 年齢や障害の有無等に関わらず、誰もが旅行を楽しめる兵庫を目指し、ユニバーサルツーリズム（UT）を推進

宿泊施設支援

- 「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言施設へのハード整備支援 [3.3億円]（R5.12月補正計上分）
- ・ UTの推進に向けた宿泊施設の取組を促進するため、**宣言を行った宿泊施設が行うバリアフリー改修を支援**
 - ・ 宣言宿泊施設が実施するバリアフリー改修に対し、**補助率1/2、補助上限2,050万円の支援**を実施

ひょうごユニバーサルなお宿

登録施設：34施設
宣言施設：77施設
(令和6年1月末時点)



エリア支援

全国初

- ひょうごユニバーサルツーリズム推進エリア形成促進 [3,200万円]
- [新]・地域を挙げてUTに積極的に取り組む観光地を「**ひょうごユニバーサルツーリズム推進エリア**」として指定し、地域ぐるみの取組を**モデル的に支援**
- ・ エリア計画を策定した協議会が実施する以下の取組に対し、**補助率1/2、補助上限1,600万円/エリアの支援**を実施

○主な支援メニュー

観光	・ エリア内の観光関連施設（民間施設）及び地域が所有する観光資源（足湯等）のバリアフリー化補助 ※エレベーター、スロープ等
滞在	・ 観光地の公衆トイレ等のバリアフリー化補助 ・ 車椅子、筆談タブレット等の購入補助
移動	・ 巡回バス・UDタクシーの導入補助

3.スポーツ・芸術文化の振興

II 活躍の場が広がる兵庫

■スポーツの振興

プロスポーツクラブとの連携

- ・ **県内プロスポーツクラブと連携**し、ふるさと納税を活用した**地域活性化プロジェクトを展開** [6,000万円]

実施内容 (例)

子どものプロスポーツ試合観戦招待
子ども向けスポーツ教室の開催
スポーツ関連イベントの開催



ユーススポーツの推進

- ・ **[新]** 全国的有数のゴルフ環境にあることを活かし、**ゴルフ場でのふるさと寄附で割引を受けられるシステムを導入**し、寄附金を財源に**子ども向けスポーツ教室等を開催** [500万円]

パラスポーツの振興

- ・ **[新]** 県内スポーツ施設のユニバーサル対応の現状調査等を実施し、**「ユニバーサルなスポーツ施設のあり方」を検討** [104万円]
- ・ **[新]** 令和6年度に開催される**神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会を支援** [1億円]

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の概要

- ・ 競技日程 令和6年5月17日～25日 (計9日間)
- ・ 会場 神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場

■芸術文化の振興

芸術文化に親しむ [1,131万円]

○ひょうごプレミアム芸術デー (無料開放・無料イベント等) の実施

- ・ 実施期間：令和6年7月9日～15日 (7日間)
- ・ **[新]** 新たに県立美術館等において開館時間を延長し、ライトアップした展示物を巡るなど夜間イベント等を実施 (**ナイト・ミュージアムの開催**)

若手芸術家の発掘・育成 [619万円]

- ・ **[新]** 県内で芸術文化活動に取り組む**Z世代を対象に、リアルとデジタルの両面で芸術文化作品等の発表の場を新たに創出**



4.交流・発展を支える社会基盤の充実・強化

■高規格道路ネットワークの整備

➤ 県の大交流圏を支える高規格道路ネットワークの早期整備を推進 [114億円]



路線名	令和6年度実施内容
播磨臨海地域道路	<ul style="list-style-type: none"> ● 早期事業化に向け、都市計画と環境影響評価手続を進める
東播磨道(北工区) 〔県事業〕	<ul style="list-style-type: none"> ● (仮称)国道175号ランプ工事、橋梁工事等を実施 ● R7年開通予定 (R5年3月21日八幡稲美ランプ～八幡三木ランプ部分開通)
北近畿豊岡自動車道 〔直轄〕	<ul style="list-style-type: none"> ＜豊岡道路(但馬空港IC～豊岡出石IC)＞ ● 道路改良等を実施 ● R6年秋 開通予定 ＜豊岡道路(Ⅱ期)(豊岡出石IC～豊岡北JCT・IC)＞ ● 調査設計、用地取得、道路改良等を実施
山陰近畿自動車道 〔県事業〕	<ul style="list-style-type: none"> ＜浜坂道路Ⅱ期(居組IC～新温泉浜坂IC)＞ ● トンネル、道路改良等を実施 ＜竹野道路(竹野IC～豊岡北JCT・IC)＞ ● 調査設計、用地取得、橋梁工事等を実施 ＜城崎道路(豊岡北JCT・IC～城崎温泉IC)＞〔直轄権限代行〕 ● 調査設計を実施
東播丹波連絡道路 〔直轄〕	<ul style="list-style-type: none"> ＜西脇北バイパス＞ ● 橋梁、改良工事等を実施 ● R8年春 開通予定 ＜西脇市黒田庄町～丹波市氷上地域＞ ● 事業着手に向け、調査中(更なる推進を引き続き国に要望)
大阪湾岸道路西伸部 〔直轄・阪神高速道路(株)の合併施行〕	<ul style="list-style-type: none"> ● 駒栄工区開削トンネル工事、六甲アイランド地区橋梁工事等を実施
神戸西バイパス 〔直轄・西日本高速道路(株)の合併施行〕	<ul style="list-style-type: none"> ● 改良工事、橋梁工事等を実施
名神湾岸連絡線 〔直轄〕	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査設計を実施 ※有料道路事業を要望中

5.次世代産業の創出

令和6年度当初予算

II 活躍の場が広がる兵庫

21

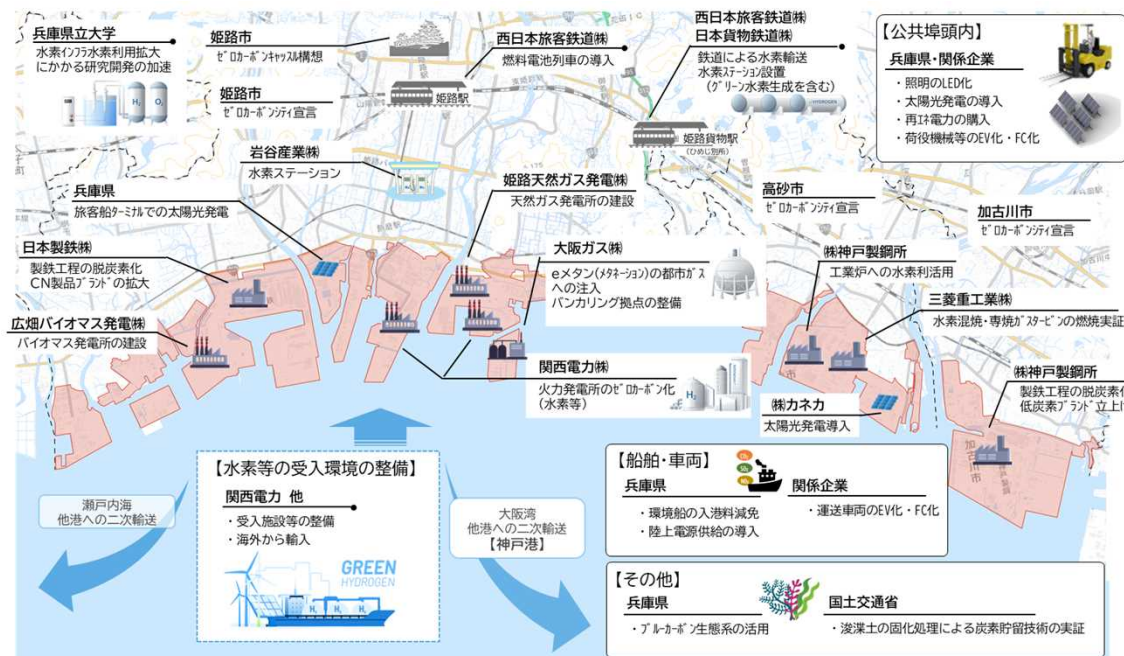
■水素社会の実現

- 官民連携で、播磨臨海地域でのカーボンニュートラルポート形成を推進
- ・ 水素ステーションの整備やF Cバスの導入を支援

[1.1億円]



エア・リキードMK
神戸空港前
水素ステーション



播磨臨海地域のカーボンニュートラル化の取組

■次世代モビリティの社会実装に向けた取組

- 大阪・関西万博を契機とした空飛ぶクルマの社会実装を目指し、事業者の実証実験等を支援

○社会受容性向上

- ・ 次世代空モビリティひょうご会議の運営

○ポート整備支援

- [新]**・万博時の必要な離発着場（暫定ポート）の安全柵を設置 [2,584万円]
- [新]**・民間事業者によるポート整備への準備を支援 [1,000万円]
（上限1,000万円、補助率1/2）

○事業開発支援

- [拡]**・ビジネス化準備やビジネスモデルの検証を支援 [8,043万円]
（上限3,000万円、補助率1/2）



実証事業の様子

6.地域に根ざした産業の活性化

II 活躍の場が広がる兵庫

■中小企業・地場産業等のSDGs取組等の支援

- 県内企業によるSDGsの取組促進及び認証企業へのインセンティブ強化

○宣言企業のステップアップ支援 [199万円]

[新]・ゴールド企業の先進的な取組やアドバンスト・スタンダード企業の
優良な取組等をまとめたデジタルブックを作成

○インセンティブ制度の拡充 [774万円]

[新]・オンラインSDGsプラットフォームへの参画

[新]・SDGs関連の展示会への出展料補助

(アドバンストステージ：**補助率1/3**、ゴールドステージ：**補助率1/2**)

○ひょうごSDGs経営大賞の創設 [159万円]

[新]・次世代ひょうご企業の**ロールモデルとなるような企業経営者を表彰**

■地域課題を解決するスタートアップの支援

- スタートアップによる地域課題解決を促進

[拡]・ひょうごTECHイノベーションプロジェクトに、**複数の企業等が自社の技術を活用**し、課題解決や
磨き上げを行なう「**複合枠**」を創設 (支援額：(通常枠) 200万円/課題×10件、(複合枠) **300万円/課題×3件**)
[2,900万円]

R5年度の実証実験例 明石市×バース・ビュー(株)：消防団活動のDX化

【現状】

- ・電話、メール等での火災通知
- ・紙媒体での消火栓や防火水槽の確認
- ・出動の可否の把握が困難



【アプリの導入】

- ・火災発生場所の通知
- ・消火栓や防火水槽を一目で把握
- ・団員の出動状況の把握



SDGs推進宣言県内中小企業

中小企業のSDGs
推進宣言を登録
R6.1 現在登録
1,124社



スタンダードステージ★

アドバンストステージ★★

ゴールドステージ★★★

ひょうごSDGs経営大賞



7. 持続可能な農林水産業の実現

II 活躍の場が広がる兵庫

■有機農業の取組拡大

➤ 有機農業を実践する担い手育成と有機農産物の出口対策に取り組み、環境創造型農業を推進

○有機農業アカデミー（仮称）の設置

[新]・有機農業に興味を持つ就農希望者の増加に対応するため、県立農業大学校に「**経営として成り立つ有機農業**」を体系的に学ぶコースを新たに設置し、人材育成を強化(**令和8年度開校予定**) [7,863万円]

本県有機農業コースの特徴

- ・ **学生毎の個別管理※**による実践的な栽培技術の習得
- ・ 全てのビニールハウスへの**環境制御システム導入※**による科学的理解、省力的・効率的な技術習得

全国
唯一

※全国の農業大学校有機農業専攻で唯一

○有機農産物の出口対策の実施

流通経路の確立

[新]・生産者と消費者を強固に結びつけることが可能な「**CSA※の手法**」を用いた**モデル形成を支援** [239万円]

消費者の理解醸成

[新]・講義と実習（有機農業塾）を通じ、環境負荷低減のみならず手間やコスト増など、**正しい理解を醸成する活動を支援** [375万円]

学校給食への導入

[新]・環境負荷の少ない農業の価値啓発を通じ、安定的需要が見込まれる**学校給食への県産有機農産物導入を支援** [192万円]

日本酒のブランド力向上

[新]・県産酒米・日本酒のさらなるブランド力の強化に向け、**日本酒の有機JAS認証取得に向けた取組を支援** [452万円]

※Community Supported Agriculture：農産物の販売契約等を通じて生産者と消費者が相互に支え合う仕組み

■持続可能性を高める取組

[新]・持続性のある農林水産の実現のため、地域に人を呼び込み、ひょうごの「農」への消費者理解を深め伝える**オープンファームの立ち上げ、取組の拡大を支援** [1,028万円]

オープンファームの狙い

地域へ消費者を呼び込み、**単なる体験にとどまらず、直接「農」の価値を伝えて消費者理解を醸成**し、農林漁業者の**所得向上を実現**させ、持続可能な農林水産の実現を目指す取組



8.循環型社会の推進

II 活躍の場が広がる兵庫

■脱炭素の推進

➤ 脱炭素社会の実現と地域経済の活性化の両立に向けた取組を支援

太陽光発電の導入促進

- [新]・現在開発が進んでいる**ペロブスカイト技術**について、開発企業や県立大学と連携し、**実証実験実施に向けた調査・検討等**を実施 [250万円]
- [拡]・国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金等を活用し、自家消費型**住宅用太陽光発電の導入、中小企業向け初期投資不要のPPA方式による太陽光発電の導入**を支援 [2.3億円]

※PPA方式：自己の敷地や屋根スペースを提供し、PPA事業者負担で整備した太陽光発電設備から電気供給を受ける仕組み

ペロブスカイト太陽電池

- 材料を塗布や印刷で作ることができ、大量生産・低コスト化が可能
- 折り曲げやゆがみに強く、フィルムに塗ることで軽量化が可能
- 日本発の技術で、主原料のヨウ素は世界産出量の約30%が国内産



出典：東芝エネルギーシステムズ株式会社
東芝フィルム型ペロブスカイト太陽電池（イメージ図）

脱炭素社会の普及啓発

- [新]・**ひょうご脱炭素経営スクールを開講**し、県内中小事業者を伴走型で支援 [400万円]
- [拡]・農産物・製品CFP（カーボンフットプリント）や脱炭素行動変容アプリを活用した、**脱炭素型ライフスタイル「ひょうご1.5℃ライフスタイル」の普及啓発を展開** [659万円]

里海ブルーカーボンの創出

- [拡]・企業等と連携し、**藻場の保全・再生を図り、ブルーカーボンクレジットの創出を検討**（藻場再生ガイドライン等の作成、ブルーカーボンシンポジウムの開催等） [1,258万円]



藻場保全活動

1.誰もが安心して暮らせる環境づくり

III 安全安心に包まれる兵庫

■高齢者が安心して暮らせる環境づくり

➤ 高齢者が生き生きと暮らせる環境整備を推進

特殊詐欺被害対策 [16.4億円] (R5.12月補正及び2月補正計上予定分)

- ・ **自動録音機能付電話機等の機器購入費**に対する**補助事業**
(市町を通じた補助)を**継続実施**

区 分	内 容
補助対象	65歳以上の高齢者 全額県負担で 実質無償化
補助率	定額
補助上限	自動録音機能付電話機購入：10,000円 外付録音機購入：5,000円

拡充前		
想定価格：12,000円		
県 4,000円	市町 4,000円	本人負担 4,000円

拡充後	
想定価格：10,000円	
県 10,000円	



- ・ **市町の申請受付窓口の体制確保に向けた支援**を実施

感染症等対策 [6,000万円]

- [新]**・ 治癒後に過酷な神経痛も危惧される**带状疱疹**について、令和6年度に限り※、**市町の带状疱疹ワクチン接種助成事業**に対して補助

区 分	内 容
対象者	接種日現在で満50歳以上の方
補助単価	市町が助成する場合に、その1/2を補助 ただし、上限額は2,000円/回
補助回数	生ワクチン、不活化ワクチンとも1回限り

※令和7年度以降は、国に定期接種化を要望するとともに、令和6年度の市町の実施状況を踏まえ対応を検討

介護基盤の充実 [27.8億円] (R5.12月補正計上分を含む)

- [拡]**・ 介護の質の維持・向上及び介護職員の負担軽減を図るため、**介護サービス現場の生産性向上に向けた介護ロボット・ICT機器の導入を支援**



見守りセンサー



装着型パワーアシスト

■地域の安全安心の確保

➤ 地域の安全安心を支える体制を強化

[新]・**交番・駐在所のネットワーク環境を整備**し、地域警察活動の拠点としての機能を強化 [1,573万円]

[新]・既存のメール配信システム「ひょうご防犯ネット」に代わって、新たに**スマートフォン専用の「安全安心アプリ」を導入**し、機能強化 [625万円]

[新]・河川・地下水に含まれる有機フッ素化合物（PFAS）への対応を強化（**モニタリング** 河川：15→**66地点**、地下水：0→**45地点**） [1,103万円]

■1人1人が尊重される社会づくり

➤ これまで生きづらさを抱えてこられた方々に手を差し伸べ、誰も取り残さない社会の実現に向けた取組を強化

性的マイノリティ支援

[新]・**県パートナーシップ制度を運用開始（R6.4予定）**
性的マイノリティの理解増進の取組（LGBTシンポジウム・出前講座等）や**性的マイノリティに関する相談・交流会**を実施 [300万円]

SNS誹謗中傷等対策

[新]・**SNSにおける誹謗中傷や差別的な書き込み等を抑止するための条例制定を検討**するとともに、被害者相談やモニタリング等を実施 [782万円]

犯罪被害者支援

[新]・犯罪被害直後に発生する様々な費用（葬儀費、転居費等）に対する**見舞金制度を創設** [410万円]
（支給金額 死亡：30万円 傷害：10万円）

軽・中度難聴児支援

[拡]・国の補装具支援制度の見直しにあわせ、市町との協調のもと支援している**軽・中度難聴児の補聴器購入費助成制度の所得制限を撤廃** [709万円]

2.暮らしを支える基盤の強化

III 安全安心に包まれる兵庫

■医療の充実

- 医師の時間外労働時間規制を踏まえ、医師の働き方改革の取組を強化
- コロナ禍における課題を踏まえ、新興感染症発生時の体制を強化

医師の働き方改革の強化

時間外労働の縮減

- 働き方改革医師派遣
[新]・長時間労働病院（B水準16病院）に医師を派遣する病院に対し、**派遣による逸失利益を補填** [4.7億円]
- 派遣元病院設備整備等支援
[新]・働き方改革医師派遣を行う病院に対し、**勤務環境改善に要する経費（ICT導入等）を支援** [2.5億円]

働き方改革の支援

- 働き方改革支援チーム派遣
[新]・希望する病院（B、C水準）に**働き方改革支援チームを派遣** [1,008万円]
 - 看護師特定行為研修受講料補助
[新]・**特定行為※を行うことができる看護師を養成**するため、病院が負担した研修受講料の1/2を支援 [1,888万円]
- ※研修修了により医師等の判断を待たずに看護師が実施可能となる医療行為

医師の時間外労働時間規制の概要

R6年度から医師の時間外労働時間の上限は**原則960時間**。ただし、一定の水準に該当する病院は、時短計画を作成し、県の指定を受けることで、**上限が1,860時間まで延長**される。

水準	要件	上限規制
A	原則	960時間
連携B	地域医療確保のために医師を派遣	1,860時間
B	地域医療確保 （高次救急、へき地、周産期等）	1,860時間
C	集中的技能向上研修 （臨床研修医、専攻医）	1,860時間
	特定高度技能修得（先進医療等）	1,860時間

※連携B、B水準は、R17年度末を目標に終了し、原則どおり960時間が上限となる。

新興感染症対策の強化

- [新]・新興感染症発生時の初動体制確保のため、**病院が行う個室整備及び個人防護具の保管施設整備を支援** [3.6億円]
- [新]・新興感染症感染拡大時の病床ひっ迫を抑制するため、医師会等による、**医療機関及び社会福祉施設に対する、感染症対応のノウハウを習得するための研修の実施を支援** [536万円]

■防災・減災対策の推進

➤ 兵庫の経験と教訓を内外に発信し、創造的復興の理念を継承

阪神・淡路大震災から30年

[新]・震災30年を迎えるにあたり、**1.17のつどいを県公館で開催**、式典の様子は、HAT神戸会場やWEBで中継し、広く県民に共有 [1,770万円]



追悼式典（震災25年）

南海トラフ巨大地震への備え

[新]・国の南海トラフ地震防災対策推進基本計画の見直しを踏まえ、**本県の津波浸水想定及び地震・津波被害想定の見直しを実施**し、地域防災計画の改定や津波災害警戒区域の指定に反映 [4,018万円]

今回の見直しの流れ（R6～R7の2カ年事業）

- ・近隣府県と連携しながら、10年前に実施した津波浸水想定及び被害想定の見直しを実施

①津波浸水想定

②被害想定

③津波災害警戒区域指定※

※津波防災地域づくり法に基づき知事が実施

ウクライナ復興支援

[新]・戦災により大きな被害や影響を受けたウクライナの自治体から、「兵庫県立総合リハビリテーションセンター」及び「兵庫県こころのケアセンター」に**専門人材を受け入れ、研修を通じ復興を支援** [3,000万円]



「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会の開催

令和6年能登半島地震への対応

- 能登半島地震で顕在化した課題を踏まえ、本県の災害対策の強化を検討
- 阪神・淡路大震災の経験や教訓、これまでの被災地支援のノウハウを活かし、被災地のニーズに寄り添った支援を引き続き実施

○能登半島地震を踏まえた今後の災害対応の充実強化に関する検討会（仮称）の設置 [300万円]

- [新]**・能登半島地震で明らかになった応急期の課題を洗い出し、本県の災害対応に活かすため、有識者等で構成する**検討会を設置**
- ・応急期において課題となった**10程度の分野について検討・提言**を受け、**地域防災計画への反映や官民連携の体制強化につなげる**

検討分野（案）

- ①災害対応、②応援・受援体制、
③ライフライン・通信分野等（孤立集落対策を含む）、
④被災者支援、⑤情報(収集・発信)、⑥物資搬送等、
⑦避難・避難所、⑧まちづくり・建築、⑨ボランティア、
⑩産業復興等

スケジュール（案）



○被災地の復旧・復興、被災者支援 [11.9億円]

区分	内容
人的支援	現地本部員、保健師、建築職員、土木職員、環境職員などを派遣し、現地ニーズに沿った支援を実施
住居の確保支援	被災者に対し、 県営住宅を60戸提供、家賃・敷金を免除
大規模災害ボランティア 応援プロジェクト	ボランティア団体等が現地に赴く 交通費、貸し切りバス借上げ料、宿泊費、現地活動のための高額特殊機材レンタル費用等を支援 (ふるさと寄附金を活用)

※その他、県立大学、高校等の授業料・入学料等の減免や各種免許証等再交付手数料の減免を実施

■県土の強靱化

➤ 南海トラフ地震や頻発する風水害に備える強靱な県土を構築[409億円]

区分	主な事業・箇所
地震・津波対策	[津波対策] 沼島漁港水門整備(南あわじ市) 福良港湾口防波堤(南あわじ市) [R6完了] 柴山港海岸防潮堤[沖浦地区](香美町)
	[橋梁耐震] 国道250号 新網干大橋(姫路市) 国道427号 日野大橋(西脇市)
総合的な治水対策	[河川改修] 武庫川河道拡幅(尼崎市等) 、 ⑨ 矢田川浸水対策(香美町) 津門川地下貯留管(西宮市)、猪名川河道拡幅(川西市)
	[河川中上流部治水対策] ⑨ 志染川河道拡幅(三木市) 、 八代川河道拡幅(朝来市) [堆積土砂撤去] 千種川(赤穂市)、杉原川(多可町) [R6完了]
	[高潮対策] 尼崎西宮芦屋港海岸[枝川町地区](西宮市) [R6完了]
	[ため池改修等] 相合池改修(姫路市)、 ⑨ 塩谷池廃止(神戸市) [R6完了]
山地防災・土砂災害対策	[砂防堰堤整備] 吹上谷川(神河町)、小野小谷川(丹波市)、 ⑨ 日枝神社川(養父市)
	[治山ダム整備] ⑨ 坂本(養父市)



沼島漁港 水門整備



武庫川 河川改修

尼崎西宮芦屋港海岸
高潮対策(防潮堤嵩上げ)

■安全安心な日常の維持管理の強化

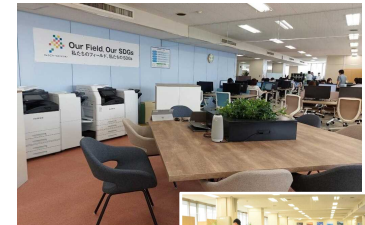
➤ 県民の安全安心に直結する日常の維持管理の強化として、「道路区画線の引き直し」「通学路等の年2回の除草」「河川堤防の点検前除草」を実施[20億円]



県政改革の推進

■新しい働き方の推進

- 「生産性の向上」と職員の「働きがいの向上」の両立を図る新しい働き方を推進
- 本庁においては、**4割出勤の実現を目指した各種のトライアルを展開**



新しい働き方モデルオフィス

R6.6月中旬まで実施期間を延長し、**繁忙期の課題等を検証**
[241万円]

サードプレイスの活用

サテライトオフィスや**コワーキングスペース**を最大限に活用
[468万円]

モバイルPC、公用携帯の活用

テレワークでの生産性向上に向け**モバイルPC**、**公用携帯電話**を導入
[2.6億円]

区 分	R 5 年度			R 6 年度			R 7 年度
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
モデルオフィス サードプレイス	モデルオフィス			実施期間延長	サードプレイスの活用		
モバイルPC、公用携帯					先行導入		本格導入

■本庁舎再編

- 県庁1・2号館に配置している部局を、3号館、生田庁舎、公館及び職員会館に移転
- 令和6年度は、**3号館等のオープンオフィス化改修、各部システムの移転準備等を実施** [9億円]

区 分	R 5 年度			R 6 年度		R 7 年度		R 8 ~ 11年度
	7~9月	10~12月	1~3月	上期	下期	上期	下期	
1号館、2号館、 議場棟、別館、西館		解体設計					退去	解体工事 緑地
3号館、生田庁舎、公館、 職員会館		改修設計			3号館 /退去	改修工事	入居	
住吉、中山手 ※		賃貸契約・入居工事				入居		

※ 住吉：神戸市水道局旧東部センター 中山手：県立総合衛生学院中山手分校



**Hyogo
Prefecture**